

研修医評価表（神経内科）

A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：全く不十分 NA：評価できない

評 価 項 目	研修医					指導医				
	A	B	C	D	NA	A	B	C	D	NA
神経学的診察が正確に行え、正常・異常の判断ができる。										
神経解剖・生理・化学の知識について概略を理解できる。										
神経学的診察に基づき神経局在診断ができる。										
医療問診・診察所見に基づき病因の推定ができる。										
原因となる疾患の鑑別診断を挙げることができる。										
確定診断のための検査計画が立てられる。										
推定した病因に基づき治療計画が立てられる。										
神経疾患と、全身疾患に伴う神経合併症の鑑別ができる。										
神経系の Common diseases として脳卒中症例を経験する。										
神経系の Common diseases として認知症症例を経験する。										
患者を通じてリハビリテーションや地域連携が理解できる。										
神経系の難治性疾患（神経難病）症例を経験する。										
難病患者やその家族の心理的側面を理解して必要な医療福祉を活用できる。										
神経画像検査の結果を正確に評価できる。										
神経生理検査の結果を正確に評価できる。										
神経病理検査の結果を正確に評価できる。										
症例を適切に要約し、回診やカンファレンスで提示できる。										